



高円宮杯 2014ホッケー日本リーグ 【 女子 】 第 3 節 第 6 日

開催日時 5 月 3 日 (土) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 ----- 10:00	山梨学院 CROWNING GLORIES 3 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 天理大学ベアーズ
第2試合 ----- 11:40	グラクソ・スミスクライン Orange United 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 コカ・コーラウエストレッドスパークス
第3試合 ----- 13:20	東海学院大学 2 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 立命館大学ホリーズ
第4試合 ----- 15:00	ソニーHC BRAVIA Ladies 3 $\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 南都銀行 SHOOTING STARS

【各試合の結果・詳細】

第1試合

山梨学院 CROWNING GLORIES 3 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 天理大学ベアーズ

勝点 6
2 勝 0 分 4 敗

勝点 0
0 勝 0 分 6 敗

<得点>

山梨学院 : 35分河村、46分浦島、63分高田

天理大学 : 53分松本

<戦評>

天理大学ベアーズのセンターパスにより前半が開始。立ち上がりから激しいボールの奪い合いが続き一進一退の攻防が続く。互いにサークルに何度も侵入するが得点には至らない。天理大学、山梨学院大学 CROWNING GLORIESともにPCを1本取りながらも得点に結びつけることができない。このまま前半終了かと思われた35分山梨学院#23狩野が左サイドから回り込み、#26河村が押し込み前半戦が終了した。後半に入っても両チームともに決め手を欠き膠着状態が続く。46分山梨学院はPCを取得。#4近藤がスィープで打ち込み#9浦島がタッチシュートを決め追加点をあげる。天理大学も山梨学院の固いDFを崩し、53分PSを取得。#11松本がしっかりと決め1点を返す。山梨学院もスピードある攻撃から63分PCを取得。#4近藤のスィープに#2高田がタッチシュートであわせ3点目をあげる。天理大学は全員守備から速攻でゴールまで行くが得点をあげることができず3-1で山梨学院が勝利した。

テクニカルオフィサー	中野 典子	アンパイア	高橋 英行
ジャッジ	荻谷 和代・細江 秀和		木下 英貴

第2試合

グラクソ・スミスクライン Orange United 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 コカ・コーラウエストレッドスパークス

勝点 9
3 勝 0 分 3 敗

勝点 18
6 勝 0 分 0 敗

<得点>

グラクソ :

CCWR : 26分大田

<戦評>

グラクソ・スミスクラインのセンターパスにより試合が開始。立ち上がりから激しいボールの奪い合いが続き一進一退のゲーム展開となった。試合中盤コカ・コーラウエストレッドスパークスが短いパスを繋ぎ相手サークルに侵入し、シュートチャンスをつくるも得点には繋がらない。18分CCWRが右サイドから上手くつかった攻撃からPCを取得するもグラクソ#18大家の好セーブにより得点できない。25分CCWRカウンターからPCを取得し#5西村がスィープシュートを右隅に決め先制点をあげた。33分左サイドから攻撃をしかけたグラクソがPCを取得するもDFの堅い守りにより得点できず、1-0CCWRリードで前半を終えた。

後半に入りCCWR優勢で試合が進む。48分DFラインからスクープを受け取ったCCWR#11笠原がドリブル突破でサークルに侵入しPCを取得するも得点には繋がらない。61分右サイドからパス主体に攻め込んだCCWRがPCを取得するもグラクソの粘り強いDFにより追加点を奪えず1-0でCCWRが逃げ切った。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	壽山 由樹
ジャッジ	鹿野 育郎・梶田 賢二		戸塚 洋介

第3試合

東海学院大学 2 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 2 & -0 \end{pmatrix}$ 1 立命館大学ホリーズ

勝点 3
1 勝 0 分 5 敗

勝点 6
2 勝 0 分 4 敗

<得点>

東海学院大学：40分山口、48分佐々木

立命館大学：29分堀井

<戦評>

東海学院大学のセンターパスで開始された。激しい攻防が行われサークル内への侵入が互いに続くが両チーム得点に至らないまま試合が進む。立命館大学ホリーズは東海学院の粘り強いDFに阻まれ、得点へ結びつかない。東海学院はカウンターからサークル内へ侵入するも得点をあげられない。25分東海学院がPCを取得するも決まらない。29分立命館もPCを取得し、#5一谷のヒットを#10堀井がダイビングタッチし立命館が先制点をあげ、そのまま前半が終了した。

後半早々39分東海学院のPCを取得し、#3杉本のシュートを立命館GKが防ぐもこぼれ球を#10山口がゴールへ押し込み同点となり、流れをつかんだ東海学院が再び48分PCを取得。東海学院#3杉本のアシストにより#6佐々木が右下にヒットシュートを決め2-1と逆転。しかし立命館もその後PCを4本取得するも得点には至らず。その後も激しい攻防が行われラスト10秒で反転速攻から東海学院がPCを取得するも得点できず2-1で東海学院が勝利した。

テクニカルオフィサー	中野 典子	アンパイア	藤原 真由美
ジャッジ	荻谷 和代・細江 秀和		元宗 宏寿

第4試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 3 $\begin{pmatrix} 3 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 0 南都銀行 SHOOTING STARS

勝点 18
6 勝 分 0 敗

勝点 12
4 勝 分 2 敗

<得点>

SONY：3分永井(友)、31分長島、35分中川

南都銀行：

<戦評>

ソニーHC BRAVIA Ladiesのセンターパスにより試合が開始された。3分SONYの#7石田のドリブルからのパスを#19永井友里が押し込みSONYが先制した。その後SONYは果敢に攻めるも南都銀行SHOOTING STARS GK#1浦田の好守で追加点をあげられない。対する南都銀行も22分にPCを取得するもSONYの堅いDFの前に得点には至らない。31分SONYの#18永井葉月のリバースヒットに#10中島がタッチし追加点を挙げる。その後もSONYは35分に#5中川がドリブルで持ち込みヒットシュートを決め、前半を3-0で折り返した。

後半、先にチャンスを得たのは49分南都銀行。PCを取得するもタッチシュートがわずかに枠を外れ得点できない。その後も互いチャンスを作ることが出来ず時間が進む。SONYは62分PCのチャンスからフリックシュートを放つも南都銀行GK#1浦田の好セーブで得点をあげられない。66分南都銀行はPCを取得するも決めることが出来ず、そのまま試合が終了しSONYが3-0で勝利した。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	根岸 郁美
ジャッジ	鹿野 育郎・梶田 賢二		我妻 順子